

回復期リハビリテーション病棟のご案内

～「できるADL」から「しているADL」、「するADL」へ～

※ADLとは日常生活動作のことです。

回復期リハビリテーション病棟は脳血管疾患または骨折、手術後など急性期の治療を終えて患者さまにリハビリテーションを行うことにより、ADLを向上させ、寝たきりの防止と在宅復帰を目的とした病棟です。入院をご希望される場合、下記窓口にご連絡ください。

【入院相談窓口】

TEL：028-666-7411 / FAX：028-666-7430

受付時間：午前9時～午後 5時（月～金曜日）

午前9時～午後12時（土曜日）



	対象疾患	入院期間
①	脳血管疾患、脊髄損傷、頭部外傷、くも膜下出血のシャント術後、脳腫瘍、脳炎、急性脳症、脊髄炎、多発性神経炎、多発性硬化症、腕神経叢損傷等の発症後もしくは手術後、又は義肢装着訓練を要する状態	150日
	高次脳機能障害を伴った重症脳血管障害、重度の頸髄損傷および頭部外傷を含む多部位外傷	180日
②	大腿骨、骨盤、脊椎、股関節若しくは膝関節の骨折又は二肢以上の多発骨折の発症後又は手術後の状態	90日
③	外科手術又は肺炎などの治療時の安静により廃用症候群を有しており、手術後又は発症後の状態	90日
④	大腿骨、骨盤、脊椎、股関節又は膝関節の神経、筋又は靭帯損傷後の状態	60日
⑤	股関節又は膝関節の置換術後の状態	90日